

秋季関西地区大学準硬式野球大会 優勝

平成 26 年 11 月 8 日、9 日、10 日尼崎ベイコム野球場で行われた、秋季関西地区大学準硬式野球大会（関西地区大学準硬式野球連盟主催）において、兵庫県立大学準硬式野球部姫路校は初優勝を果たした。（姫路工業大学としては 16 年前に優勝経験がある）

関西地区には我々が所属している京阪神リーグ（7 大学在籍）の他、阪神 6 大学リーグ、関西医歯薬リーグ、近畿 6 大学リーグ、西都 6 大学リーグ、関西 6 大学リーグ、京滋 6 大学リーグの 7 リーグに 56 大学（チーム）が在籍している。各リーグでリーグ戦、プレーオフを制したチームが今回行われた秋季関西地区大学準硬式野球大会に出場でき、その 7 チームでトーナメント戦を行い、関西 No 1 を決めるという大会である。

我々、兵庫県立大学準硬式野球部姫路校の初戦は 9 日準決勝、阪南大学（阪神 6 大学リーグ代表）との戦いであった。

初回 4 番由上（環境人間学部 1 回生）の 2 点タイムリーヒットを口火に 2 回にも 2 得点、4 回には 3 番田中（主将・理学部 3 回生）の満塁ホームランで一気に相手を突き放す。投げては投手阪本（理学部 2 回生）が 2 安打完封し、9 対 0（7 回コールドゲーム）で勝利を果たした。

翌日、10 日の決勝戦は近畿大学（近畿 6 大学リーグ代表）との対戦であった。

初回 1 番中村（環境人間学部 1 回生）が初球を打ち 2 塁打、続く 2 番三木（工学部 3 回生）が初球を送りバントで 1 アウト三塁とチャンスを広げ、3 番田中が初球を打ちタイムリーヒットと 3 球で先制点をもぎとる。その後は 4 回まで両チーム 0 行進がつづくが 5 回の表兵庫県立大学は 7 番神田（環境人間学部 1 回生）、9 番岡村（工学部 1 回生）のタイムリーで 3 点の追加点をとる。しかし、5 回裏これまで好投していた福田（理学部 2 回生）が自らのエラーなどで 2 点を返されるが、代わった中川（理学部 3 回生）が後続を抑え、この回は相手の攻撃を 2 点に食い止めた。しかし 6 回の裏、中川が打ち込まれまたもや 2 点とられ、4 対 4 の同点に追いつかれた。ここで、昨日 1 2 4 球を投げた阪本にスイッチし後続を抑える。その直後の 7 回の表に船見（工学部 2 回生）のタイムリーなどで 2 点を取り、勝ち越す。その後阪本が 7, 8, 9 回と相手打線をほぼ完璧に抑え、6 対 4 で勝利し、優勝を果たした。

我々は部員数 13 名と他のチームと比較すると非常に選手層は薄かったが、その分チーム内の結束力と仲の良さは他のチームの何倍も強いと思っている。我々はこの大会の優勝に満足することなく、春に行われる関西地区大学準硬式野球選手権大会でも優勝し、全国大会の切符を手に入れ、全国制覇を目標にこれからの練習に励んでいきたいと思いを。

準硬式野球部 主将 田中 進之助

大会の様子

